

2025年度事業報告書

はじめに

本会は、ライフル射撃界の統括団体・代表として、「将来構想」の中期目標を踏まえ、2025年度事業を実施した。本報告書では、「アスリートの育成」「競技の普及」「社会貢献」という3つの役割を効果的に実行するための6つの活動に沿って、主な取り組みと成果を報告する。

2025年度は、日本初開催となった第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025において射撃競技が実施され、本会が競技運営に全面的に協力した。また、2026年愛知名古屋アジア競技大会に向けた選手強化と大会準備が本格化した年度であった。

活動1：アスリートの育成・支援

2028年ロサンゼルスオリンピック及び2026年愛知名古屋アジア競技大会でのメダル獲得を目指し、ナショナルトレーニングセンター（NTC）射撃場を活用した日本代表候補選手の強化合宿や海外遠征を計画的に実施した。

デフリンピック東京2025射撃競技には、日本代表選手5名が出場した。10mエアライフル男子に濱谷秀平選手・永田英司選手、同女子に柳田かれん選手、50mライフル伏射男子に高桑昭紀選手、50mライフル伏射女子・50mライフル3姿勢女子に桂玲子選手が出場を果たした。

将来を担う若手選手の発掘・育成においては、Foundation（基礎）、Talent（才能）、Elite（エリート）、Mastery（熟達）の各段階に応じた一貫指導・育成事業（FTEM事業）を継続し、全国の加盟団体と連携しながら一貫した発掘・指導・育成システムに基づいた事業展開を行った。さらに、独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）委託事業であるジャパン・ライジング・スター・プロジェクト（J-STAR）に参加し、全国から候補者を選考のうえ発掘プログラムを実施した。今後は既存のJSCスポーツ振興くじ助成のFTEM事業と連携しながら、各地域での育成へとつなげていく。

東アジアユースエアガン大会には、シンガポール、韓国、インドネシア、台湾とともに日本が参加し、10m各種目に代表選手12名が出場した。

活動2：ライフルスポーツの普及

共生スポーツの推進においては、全日本選手権を引き続き男女の区別なく参加できる共生大会として開催するとともに、第2回ALL JAPAN FINAL CUPを実施した。全日本選手権をはじめとする各種競技会の円滑な運営と競技記録の管理・公表に努め、会員の競技活動を支えた。

デフリンピック東京2025射撃競技では、本選からファイナルまでの全試合をYouTubeにてライブ配信し、射撃スポーツの魅力を広く発信した。

老若男女が楽しめるスポーツとしての間口を広げるため、スポーツ射撃教室を多様な形態で展開した。JSCスポーツ振興くじ助成事業として、日本オリンピックミュージアムでの定期開催を継続するとともに、令和7年度「スポーツの日」中央記念行事 スポーツ祭り2025ではNTCイーストに出展するなど、幅広い層にスポーツ射撃を体験する機会を提供した。ENEOSホールディングス株式会社の支援のもと、特別支援学校、ろう学校でのスポーツ射撃教室を通じて、障がいの有無にかかわらず誰もが参加できる共生スポーツの認知拡大にも取り組んだ。また、年度末にはオンラインとリアルをつなぐ新たな取り組みとして「ビームみらいステージ」を開催し、全国複数拠点からの参加を実現することで、射撃競技の裾野拡大を図った。また、JSCスポーツ振興くじ助成をうけ、協会の公式ホームページを刷新した。

競技人口の拡大を支える基盤として、銃器に関する法的規制への対応にも継続して取り組んだ。推薦管理体制の整備を進めるとともに、関係当局との協議を継続した。空気拳銃の利用可能人数の枠については、引き続き適正な推薦管理の実施を通じて、競技環境の整備に努めている。

活動3：社会貢献

日本初開催となったデフリンピック東京2025において、本会はNTC射撃場を会場として、20か国78名の選手を迎え、大会スタッフ52名の体制で競技運営に協力した。聴覚に障がいのある選手が競う国際総合大会の射撃競技を日本で実施できたことは、共生社会の実現に向けた具体的な貢献となった。東京2020大会の知見を再確認するとともに、2026年愛知名古屋アジア競技大会への準備に資する機会ともなった。

スポーツ射撃教室においては、東京都立北特別支援学校や東京都立葛飾ろう学校での教室開催を通じて、障がいのある児童・生徒を含む誰もがスポーツ射撃を楽しめる環境づくりに取り組んだ。特に、座位でも取り組める射撃競技の特性を活かし、肢体不自由の生徒にも参加の機会を提供した。

射撃スポーツが健康寿命の延伸に寄与する可能性については、これまでの研究成果を踏まえ、引き続きスポーツ射撃教室等の場を通じた実践的な検証を継続している。

活動4：経済的な自立

「ニチラ応援ふるさと納税」は5年目を迎え、寄付件数・寄付金額ともに前年度を上回る結果となった。会員および加盟団体の協力に心より感謝の意を表す。

事業運営では、デジタル化による事務の効率化及びコスト削減を継続し、事務局全体で財務・事業の適正化に取り組んだ。スポンサーの獲得活動を推進し、JRSF Official Sponsorsとして5社の協賛を得た。

ガバナンス強化においては、定期的にコンプライアンス委員会を開催するとともに、

12月の理事会において外部の弁護士を招き「理事の役割と責任」をテーマとする役員コンプライアンス研修を実施した。インテグリティ教育を選手・指導者に対して引き続き実施し、スポーツ団体・公益法人としての社会的責任を果たすべく組織運営の透明性と信頼性の向上に努めた。

活動5：加盟団体との連携

加盟団体の規程等の整備をサポートし、指導・助言を継続して行い、加盟団体を含めた組織全体のガバナンス強化を図った。

スポーツ射撃教室については、各地の加盟団体との連携により、地域に根ざした普及活動の展開が実現した。また、FTEM事業においても加盟団体と連携し、発掘・指導・育成の体制構築を進めた。

デジタル化の推進により、加盟団体の事務負担軽減と会員サービスの向上を図った。

活動6：国際交流の促進

国際射撃スポーツ連盟（ISSF）及びアジア射撃連合（ASC）における日本のプレゼンスを維持・強化するため、松丸喜一郎名誉会長がISSF Executive Committee Member及びASC副会長を、藤井彌事務局長がISSF Rifle Committee Member及びASC Technical & Judges Committee Memberを、栗生由紀理事がISSF Judges Committee Memberを、それぞれ継続して務めた。このほか、コーチ委員会及びメディカル委員会においても日本から委員が活動を継続した。

国際審判事業では、国際大会への出役を通じた育成を継続するとともに、ISSF主催の国際審判資格取得講習会（インド）に新たに1名を派遣した。

射撃版eSportsであるeshooting（イーシューティング）については、国際オリンピック委員会主催の「オリンピックeスポーツゲームズ」の開催時期が引き続き調整中であることに伴い、予選会を兼ねる全日本選手権の開催を見送った。国際的な動向を注視しながら、開催に向けた準備を継続している。

おわりに

2025年度、本会は「アスリートの育成」「競技の普及」「社会貢献」という3つの役割を効果的に実行するための6つの活動を着実に推進した。全日本選手権をはじめとする競技会の運営、公認審判員・指導者の育成、段級審査の実施など会員の競技活動を支える基盤を維持するとともに、デフリンピック東京2025射撃競技の運営への協力、共生スポーツ大会としての定着など、多様な分野で成果を上げることができた。

これらの成果は、日々の競技活動の中でスポーツ射撃を愛し本会を支えていただいている会員の皆様、加盟団体、そしてスポーツの価値を理解しご協力いただいている諸官庁・団体をはじめとする関係者のご支援の賜物である。この場をお借りして深く感謝の意を表す。

2026年度は、愛知名古屋アジア競技大会の本番を迎える。本会は、ライフル射撃スポーツの発展と社会への貢献を目指し、役員・事務局一丸となって邁進する。引き続きのご支援、ご協力を心より願う。

2026年6月13日

公益社団法人 日本ライフル射撃協会
会 長 橋 本 聖 子

2025 年度事業実施状況

(定款第 4 条 1 項～6 項関係)

1 ライフル射撃スポーツの普及及び指導

(総務委員会)

- ① 日本初開催となった第 25 回夏季デフリンピック競技大会東京 2025 において射撃競技が実施され、本選からファイナルまでの全試合を YouTube にてライブ配信した。
- ② 広報事業を軸に、共生スポーツであることを積極的に発信した。
 - ▶ JSC スポーツ振興くじ助成をうけ、広報誌「ライフルスポーツ」を 4 回発行した。
 - ▶ インスタグラム、Facebook など、SNS を通じた発信を継続的に実施した。
- ③ JSC スポーツ振興くじ助成をうけ、協会の公式ホームページを刷新した。

(選手強化委員会)

- ④ 戦略に基づく JRSF 認定コーチによるジュニアの発掘育成事業を実施した。
 - ▶ スポーツ振興くじ助成金をうけ、FTEM 発掘育成事業を実施した。
 - ▶ JSC 委託事業（「アスリート育成パスウェイの構築支援」委託事業）、ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト（オリンピック競技）を実施した。

(普及・生涯スポーツ委員会)

- ⑤ 協会主催（新宿区内は新宿区後援）の射撃スポーツ教室を定期的を開催した。

事案区分	実施日	場所／特記事項
くじ助成事業	6/29(日)	新宿区・日本オリンピックミュージアム
くじ助成事業	8/3(日)	新宿区・日本オリンピックミュージアム
外部イベント	10/5(日)	千代田区民スポーツ大会内イベント
JSC イベント	10/13(月祝)	北区・NTC イースト（スポーツ祭り）
外部イベント	12/7(日)	千代田区パラ・e スポーツイベント
NF 支援事業	12/17(水)	東京都立北特別支援学校 / みんなのスポーツ射撃体験 Presented by ENEOS
ふるさと納税 活用事業	2026/2/15(日)	ビジョンセンター新宿マインズタワー
NF 支援事業	2026/2/17(火)	東京都立葛飾ろう学校 / みんなのスポーツ射撃体験 Presented by ENEOS
NF 支援事業	2026/3/8(日)	NTC・他全国数カ所（オンライン接続）/ ビームみらいステージ Presented by ENEOS

(社会的意義)

射撃スポーツは、専用施設と銃器の使用を伴うことから、法令に基づく適正な管理体制のもとでのみ実施可能なスポーツである。本会は、特別支援学校・ろう学校を含む多様な場で

のスポーツ射撃教室の開催、SNS および広報誌を通じた継続的な情報発信を通じて、障がいの有無や年齢を問わず参加できる「共生スポーツ」としての認知拡大に取り組んだ。これらの普及活動は、スポーツを通じたインクルーシブな社会の実現に寄与するものである。

2 ライフル射撃スポーツの日本選手権大会及びその他の競技会の開催

(国スポ委員会)

- ① わた SHIGA 輝く国スポ (第 79 回国民スポーツ大会) の競技運営を行なった。
- ② 全日本社会人選手権・全国ジュニアスポーツ大会・全国センター・ファイア・ピストル大会において、青の煌 (きら) めきあおもり国スポの競技運営リハーサルを行なった。

(競技運営委員会)

- ③ デフリンピック東京 2025 射撃競技 (2025 年 11 月 15 日～25 日、ナショナルトレーニングセンター射撃場) の競技運営に協力した。20 か国 78 名の選手が参加し、大会スタッフ 52 名 (ドイツ人 2 名、日本人 50 名) の体制で銃器保管、用具検査、競技進行等を実施した。東京 2020 大会の知見を再確認し、2026 年愛知名古屋アジア競技大会への準備に資する機会となった。
- ④ 全日本選手権大会を主催し、各種競技会を後援、公認した。
 - ▶ 主催競技大会の記録を管理・保存すると共に、公式ウェブサイトにて公表した。(別表 1)
- ⑤ 全日本の競技会を共生大会として開催するため、次の事業を実施した。
 - 第 51 回 全日本スポーツ射撃競技選手権大会(300m)
 - 全日本スポーツ射撃競技選手権大会(BR/BP)
 - 全日本スポーツ射撃競技選手権大会(10m AR/AP/50m R)
 - 第 37 回全日本パラスポーツライフル射撃競技選手権大会
 - 第 12 回全日本小中学生スポーツ射撃選手権大会
 - 第 9 回全日本ミックス・チーム射撃競技選手権大会 (10m AR/AP/50m R)
 - 第 2 回 ALL JAPAN FINAL CUP (10m AR/AP/50m R/25m SP/RFP)
- ⑥ 日本新記録を公認した (別表 5)
- ⑦ 公認射撃場について、以下の射撃場を公認した。
 - 宮崎県ライフル射撃競技場 ライフル射場 第 2 種射撃場
 - 宮崎県ライフル射撃競技場 空気銃射場 第 2 種射撃場
 - 青森県警察学校射撃場 25m 射場 第 2 種射撃場
 - 弘前市運動公園特設ライフル射撃場 50m 射場 第 2 種射撃場
 - 弘前市運動公園特設ライフル射撃場 10m 射場 第 2 種射撃場
 - 荒川区総合スポーツセンター エアライフル射場 第 3 種射撃場
 - 足立区総合スポーツセンター エアライフル射場 第 3 種射撃場
- ⑧ 競技運営で必要となる音楽機器、計測機器を加盟団体へ貸し出した。
- ⑨ 競技用銃砲、ゲージ等の検定・公認を行った。
- ⑩ 電子標的の再公認検定を廃止し、競技会事前確認制度を導入した。(「電子標的の競技会事前確

認要領」2025年4月1日施行)

(マーケティング委員会)

- ⑪ IOCが推進するeSportsについて、eshooting(射撃版eSports)の全日本大会を開催する予定だったが、IOCによるOlympic eGamesの開催時期の延期により、予選会を兼ねる全日本選手権も開催延期となった。

(社会的意義)

日本初開催となった第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025において、本会は競技運営を全面的に担い、20か国78名の選手を迎えた。全試合のYouTubeライブ配信を実施したことにより、聴覚障がい者が競うスポーツの魅力を国内外に広く発信した。また、全日本選手権大会を引き続き男女の区別なく参加できる「共生大会」として開催したことにより、スポーツを通じた多様性・包摂性の実践に取り組んだ。競技会の継続的な開催は、会員の競技活動を支える基盤であるとともに、射撃スポーツの社会的認知の向上に貢献するものである。

3 ライフル射撃スポーツに関する競技力の向上を図ること

(選手強化委員会)

- ① 2026年アジア競技大会において複数のメダル獲得を目指し、ナショナルトレーニングセンター(NTC)射撃場を活用した日本代表候補選手の強化合宿や海外遠征を計画的に実施した。
- ② 地域の指導者や強化スタッフとナショナルコーチ間の連携を強化した。
 - ▶ 競技力向上事業補助金をうけ、コーチ力強化事業を実施した。
- ③ ジュニアからシニアまでの一貫した強化戦略を構築した。
 - ▶ 競技力向上事業補助金をうけ、選手強化事業・次世代アスリート育成強化事業を実施した。(別表2、別表3)
- ④ 2026年アジア競技大会において複数のメダルを獲得するため、遠征と合宿を実施した。
- ⑤ 東アジアユースエアガン大会は、韓国にて集合形式で開催された。参加国はシンガポール、韓国、日本、インドネシア、台湾であった。代表選手として10m各種目3名の12選手が出場した。
- ⑥ デフリンピック東京2025射撃競技に日本代表選手5名が出場した。10mエアライフル男子に濱谷秀平・永田英司、同女子に柳田かれん、50mライフル伏射男子に高桑昭紀、50mライフル伏射・50mライフル3姿勢女子に桂玲子が出場した。
- ⑦ スポーツ振興くじタレント発掘・一貫指導育成事業助成金を受けて、タレント発掘・一貫指導育成事業を実施した。(別表4)
- ⑧ ミズノスポーツ振興財団の助成をうけ、下記の事業を行った。
 - ▶ 韓国仁川合宿
 - ▶ 全日本小中学生大会/韓国仁川小学生チーム招聘
- ⑨ NTC射撃場の使用状況については、年間稼働率は95%であった。

(アスリート委員会)

- ⑩ アスリート委員会を開催し、新しいアスリート委員長、副委員長を選任するとともに、アスリー

ト委員会から関係委員会に対して提案を行った。

(社会的意義)

ナショナルトレーニングセンター射撃場(年間稼働率 95%)を活用した体系的な強化事業、および FTEM・J-STAR を通じた一貫指導育成システムの構築は、次世代アスリートの発掘と育成に資するとともに、スポーツ政策上の課題である競技力強化の実現に貢献するものである。東アジアユースエアガン大会への派遣、デフリンピック東京 2025 への日本代表 5 名の参加は、国際競技舞台における日本の存在感を示し、スポーツを通じた国際交流・相互理解の促進に寄与した。

4 ライフル射撃スポーツに関する指導員及び審判員の養成及び資格認定

(総務委員会・競技運営委員会)

① 国際大会への出役等による国際審判の育成を実施した。

- 民間スポーツ振興費等補助事業(国際審判員養成プログラム委託事業)を活用し国際大会役員の育成及び活動促進、派遣として、2 名を 2 大会に派遣した。
- 民間スポーツ振興費等補助事業(国際審判員養成プログラム委託事業)を活用し、1 名が国際審判資格取得講習会(インド)に派遣され、国際審判資格を取得した。

(競技運営委員会)

② 公認審判の認定と育成のため、研修を実施した。

- 新たに本部 14 名、地方 40 名の公認審判員を承認した。名誉審判員胸章を 4 名に贈呈した。
- 審判員研修ならびに TD 講習を対面およびオンラインのハイブリッド形式で実施し、審判員研修は 87 名、TD 講習は 40 名が受講した。

③ 段級審査を実施し、1,420 件(内生徒 928 件)の級位を授与し、1,480 件(内生徒 929 件)の段位を授与した。

④ 2nd ALL JAPAN FINAL CUP 10m エアライフル種目 ファイナルイベントの YouTube 生配信をした。

(普及・生涯スポーツ委員会)

⑤ JSPO 公認コーチ、JRSF 認定コーチの認定と育成のため、研修を実施した。

- JRSF 認定 C 級コーチとして新規に 35 名を認定した(うち 17 名は JSPO 公認コーチ 3 専門科目を兼ねて受講)。
- JRSF 認定 D 級コーチ資格として新規に 12 名を認定した。
- JRSF 認定 B 級コーチ資格として新規に 13 名を認定した。
- JRSF 認定コーチ取得講習会を以下のとおり実施した。
認定 C 級コーチ 12 月、1 月
認定 D 級コーチ 6 月
- 日本スポーツ協会公認ライフル射撃コーチ 3 専門科目講習会(実技:12 月 NTC、座学:1 月 WEB)を実施し、公認コーチ専門科目として 16 名を認定した。
- JRSF 認定コーチ資格更新講習会をオンラインにて以下のとおり実施した。
6 月 2 回、3 月 2 回

(その他)

- ⑥ ミズノスポーツ振興財団の助成をうけ、全国高校指導者研修会を東京都北区(NTC イースト)、東京都中野区(明治大学附属中野高等学校3階会議室)で開催し、38名が参加した。

(社会的意義)

公認審判員54名の新規認定、JRSF認定コーチ60名の養成、段級審査2,900件の実施は、全国における射撃スポーツの競技水準の維持と底上げに直接寄与するものである。資格制度を通じた人材育成は、スポーツ団体としての社会的責任の中核をなすとともに、安全かつ公正な競技環境の整備という観点から、銃器を扱うスポーツの健全な普及を社会的に担保するものである。

銃器を取り扱うライフル射撃競技においては、指導員の専門性が競技者の安全確保に直結する。本会が実施する認定コーチ養成制度は、射撃技術の指導にとどまらず、銃器の適切な取り扱いと安全管理に関する知識・態度を体系的に育成するものであり、競技の普及に伴う社会的リスクを最小化する機能を果たしている。全国の加盟団体に配置された認定指導員は、地域における安全な射撃スポーツ環境の担い手として、公益法人たる本会の社会的使命を実践的に体現する存在である。

5 ライフル射撃スポーツの普及・発展に資するための補完事業として事業運営上必要な物品の販売

- ① 標的、メダル、賞状など大会運営に必要な物品を販売した。

6 その他目的を達成するために必要な事業

(総務委員会・マーケティング委員会)

- ① ライフルスポーツ応援ふるさと納税寄付として、新宿区へのふるさと納税を推進した。

- ▶ 2024年1月～12月受入、2025年支援金交付

本会を指定して寄附があった件数、寄附金額 60件 3,715,000円

本会への支援金(寄附金額の7割が上限) 2,600,000円

- ▶ 2025年1月～12月受入、2026年支援金交付予定

本会を指定して寄附があった件数、寄附金額 69件 5,124,000円

本会への支援金予定額(寄附金額の7割が上限) 3,586,000円

(総務委員会)

- ② 国内外の事業を円滑に推進するため、次の団体との加盟関係を維持した。

- ▶ 国際射撃スポーツ連盟(ISSF)に引き続き加盟した。
- ▶ アジア射撃連合(ASC)に引き続き加盟した。
- ▶ 公益財団法人日本スポーツ協会に引き続き加盟した。
- ▶ 公益財団法人日本オリンピック委員会に引き続き加盟した。
- ▶ 公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構に引き続き加盟した。

- ③ 国際射撃スポーツにおける日本の発言力強化と競技発展のため、次の通り、ISSF及びASCにおける役職を継続・拡大した。

- ▶ IF役員ポスト獲得支援事業のサポートを受け、松丸喜一郎会長が各国とネットワークを構築し、ISSFのExecutive Committee MemberならびにASCの副会長を継続して務めた。
- ▶ 藤井彌事務局長がISSFのRifle Committee Memberを継続して務めた。

- 粟生由紀理事が ISSF の Judges Committee Member を継続して務めた。
- 藤井彌事務局長が ASC の Technical & Judges Committee Member を継続して務めた。
- エミール・ドシャノフコーチが ISSF の Coaches Committee Member を継続して務めた。
- 小野聡先生が ISSF の Medical Committee Member を継続して務めた。

(推薦委員会)

④ 銃砲刀剣類所持等取締法に定められる銃器の所持に関する推薦書を（公財）日本スポーツ協会の委託を受け発行した。

拳銃	7 (更新 7、新規 0)
空気拳銃	329 (更新 220、新規 109 [内低年者 36])
指導用空気拳銃	1
空気銃	104
ライフル銃	177 (大口径 26、小口径 151 [内低年者 61])
年少射撃資格	141 (空気銃 127、空気拳銃 14)
技能講習免除	213

⑤ 推薦銃の使用状況を審査し競技者適格証明書を発行した。同制度は本年度をもって終了する。

ライフル射撃競技者適格証明 155

(コンプライアンス委員会)

- ⑥ 定期的にコンプライアンス委員会を開催し、組織のガバナンス強化に取り組んだ。
- ⑦ JSC スポーツ振興くじスポーツ団体ガバナンス強化事業をうけ、次の事業を行なった。
 - 通報相談窓口を運営した。通報相談は 7 件だった。
 - 12 月の理事会において、役職員コンプライアンス研修を実施した。
- ⑧ ガバナンスコードの原則 5 に対応したインテグリティ教育について、2871 名の選手をはじめ指導者についても引き続きインテグリティ教育を行った。
- ⑨ 加盟団体への指導・助言を行なった。

(マーケティング委員会)

⑩ スポンサーの獲得活動を推進し、JRSF Official Sponsors として、5 社の協賛を受けた。

(倫理委員会)

⑪ 倫理委員会開催実績 2 回開催した。

(その他)

⑫ 定時総会を 2025 年 6 月 14 日に開催し、以下の内容を議決した。

- 第 1 号議案 正会員の承認の件
- 第 2 号議案 2024 年度事業報告承認の件
- 第 3 号議案 2024 年度収支決算書承認の件
- 第 4 号議案 会員規程改定承認の件
- 第 5 号議案 理事監事選任の件
- 第 6 号議案 役員報酬の件

⑬ 理事会を以下の通り開催した。

- 2025 年 5 月 14 日 第 1 回理事会

- 2025年7月12日 第2回理事会
- 2025年9月27日 第3回理事会
- 2025年12月6日 第4回理事会
- 2026年2月21日 第5回理事会

⑭ 以下の方々の表彰を実施した

<会長特別表彰>

- 水田光夏氏（日本パラ射撃連盟推薦）
- 大川正視氏（北海道ライフル射撃協会推薦）
- 田村恒彦氏（日本ライフル射撃協会会長推薦）
- 岸高清氏（日本ライフル射撃協会会長推薦）
- 大野明敏氏（日本ライフル射撃協会会長推薦）

<会長表彰>

推薦なし

<職員永年表彰>

推薦なし

<年間活動賞>

- ALSOK 所属 岡田直也（選手強化委員会推薦）
- 明治大学所属 野畑美咲（選手強化委員会推薦）

(社会的意義)

「ニチラ応援ふるさと納税」は5年目を迎え、令和7年度は69件・5,124,000円の寄附を受け入れた（令和6年度：60件・3,715,000円）。寄附件数・金額ともに前年度を上回ったことは、本会の公益活動に対する市民の支持が着実に広がっていることを示すものである。ふるさと納税制度を通じた市民からの自発的支援は、本会の財源を多様化し、社会の要請に応じた公益活動を自律的かつ継続的に実施できる基盤を強化するものである。財務的自立の追求は、公益法人としての持続可能性を高めるとともに、長期にわたって安定した公益サービスを社会に提供し続けるという観点から、それ自体が社会的意義を有する。

インテグリティ教育の継続実施およびコンプライアンス研修の実施は、スポーツの価値の保護と公益法人としての社会的信頼の維持に寄与するものである。

2025年度 主催競技会開催状況

自	至	事業名	開催場所		主管	共催・後援等
5月16日(金)	5月18日(日)	全日本スポーツ射撃競技選手権大会(BR/BP)	埼玉県	長瀬町	千葉県ラ	
6月13日(金)	6月15日(日)	第29回 日本学生選抜スポーツ射撃競技大会	大阪府	能勢町	SRAJ	
6月20日(金)	6月22日(日)	第55回 東日本スポーツ射撃競技選手権大会	神奈川県	伊勢原市	神奈川県ラ	
6月20日(金)	6月22日(日)	第55回 西日本スポーツ射撃競技選手権大会	熊本県	益城町	熊本県ラ	
7月12日(土)	7月13日(日)	全日本スポーツ射撃競技選手権大会(BR/BP)	宮城県	石巻市	宮城県ラ	
7月27日(日)	7月30日(水)	第3回 全日本高校生スポーツ射撃選手権大会(AP・BP)	広島県	安芸太田市	全国高校ライフル射撃部	公益財団法人 全国高等学校体育連盟・スポーツ庁・総務省・(公財)日本スポーツ協会・(一財)地域活性化センター・広島県・広島県教育委員会・(公財)広島県体育協会・広島県高等学校体育連盟・安芸太田町・安芸太田町教育委員会・NHK
7月27日(日)	7月30日(水)	第63回 全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会	広島県	安芸太田市	全国高校ライフル射撃部	
9月5日(金)	9月7日(日)	全日本社会人スポーツ射撃競技選手権大会 全国ジュニアスポーツ射撃競技大会	青森県	弘前市	青森県ラ	公益社団法人日本ライフル射撃協会/弘前市/青の煌めき国スポ・障スポ弘前市実行委員会 青森県/青森県教育委員会/青の煌めき国スポ・障スポ実行委員会/公益財団法人青森県スポーツ協会 弘前市教育委員会/公益財団法人弘前市スポーツ協会
9月7日(土)	9月8日(日)	全国センター・ファイア・ピストル射撃競技大会	青森県	青森市	青森県ラ	青森県 青森県教育委員会 青森県警察 公益財団法人青森県スポーツ協会 青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会 青森市教育委員会 一般財団法人青森市スポーツ協会
9月13日(土)	9月15日(月)	JOCジュニアオリンピックカップ 兼 第35回 ISFジュニアスポーツ射撃競技選手権大会	埼玉県	長瀬町	埼玉県ラ	日本学生ライフル射撃連盟、全国高等学校ライフル射撃部・(公財)日本オリンピック委員会・埼玉県・埼玉県スポーツ協会・長瀬町・長瀬町教育委員会・長瀬町スポーツ協会
10月4日(土)	10月7日(火)	国民スポーツ大会(ライフル射撃)	大阪府	能勢町	滋賀県ラ	滋賀県 わたしSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会・(公財)滋賀県スポーツ協会
10月16日(木)	10月19日(日)	全日本学生スポーツ射撃選手権大会 第72回男子総合/第38回女子総合	栃木県	宇都宮市	SRAJ	スポーツ庁 一般社団法人 大学スポーツ協会 栃木県ライフルスポーツ射撃協会 銀座銃砲店 ライフルショップエニス Commence fire 興東電子 J-MAGIC 毛塚商会 神奈川県立伊勢原射撃場 シーズジャパンNSK 日本エアースポーツガン協会 日本クレア射撃協会
10月31日(金)	11月3日(月)	全日本スポーツ射撃競技選手権大会(10mAR-AP/50mR) (男女混合オリパラ共生大会)	宮城県	石巻市	JRSF	
11月23日(日)	11月24日(月)	第49回 全日本前装銃射撃競技選手権大会	千葉県	千葉市	前装銃連	
11月14日(金)	11月16日(日)	第37回 全日本バラスポーツライフル射撃競技選手権大会 (男女混合オリパラ共生大会)	大分県	由布市	日バラ連	公益財団法人日本バラスポーツ協会・公益社団法人日本モーターボート選手会・大塚製薬株式会社
11月23日(土)	11月24日(日)	第47回 全日本前装銃射撃競技選手権大会	千葉県	千葉市	前装銃連	
11月27日(木)	11月30日(日)	全日本スポーツ射撃競技選手権大会(25m) 兼 強化指定選手選考記録会	東京都	北区	JRSF	公益社団法人日本ライフル射撃協会、特定非営利活動法人日本バラ射撃連盟、大分県ライフル射撃協会
12月20日(土)	12月21日(日)	第12回 全日本小中学生スポーツ射撃選手権大会 (男女混合オリパラ共生大会)兼 強化指定選手選考記録会	東京都	北区	JRSF	仲本雅総合商事
1月23日(金)	1月28日(水)	ALL JAPAN FINAL CUP (10mAR-AP/50mR/25mSP/RFP) 兼 強化指定選手選考記録会	東京都	北区	JRSF	
2月20日(金)	2月23日(月)	第9回 全日本ミックス・チーム射撃競技選手権大会 (10mAR-AP/50mR)	大阪府	能勢町	近射連	
3月20日(金)	3月22日(日)	第45回 全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会	高知県	高知市	全国高校ライフル射撃部	高知県ライフル射撃協会

2025年度選手強化活動事業

別表2

事業細目名	競技種目	事業名	実施場所	期間	人数		
					強化スタッフ	選手	計
チーム派遣	R/P	ISSFWCミュンヘン兼事前合宿	NTC・ドイツ	2025年6月2日～2025年6月16日	2	4	6
	R/P	アジア選手権事前合宿	NTC・カザフスタン	2025年8月7日～8月29日	2	11	13
	R/P	ISSFWC寧波兼事前合宿	NTC・中国	2025年8月13日～9月15日	3	9	12
	R/P	ISSF世界選手権兼事前合宿	NTC・カイロ	2025年10月30日～11月19日	2	13	15
	R/P	アジア選手権事前合宿②	NTC・インド	2026年1月28日～2月14日	1	11	12
海外合宿	R/P	韓国強化合宿①	韓国	2025年4月17日～4月28日		13	13
	R/P	韓国強化合宿②	韓国	2025年11月19日～11月28日	2	13	15
国内合宿	R/P	NTC強化合宿①	NTC・朝霞	2025年5月18日～6月2日	5	43	48
	R	NTC強化合宿②	NTC	2025年7月13日～7月20日	1	13	14
	R/P	NTC・朝霞強化合宿③(RP)	NTC・朝霞	2025年9月15日～9月29日	3	27	30
	R	NTC強化合宿④	NTC	2025年10月20日～10月26日	1	8	9
	R	NTC強化合宿⑤	NTC	2026年1月7日～1月11日	1	15	16
	P	NTC強化指定選手合宿①(6月P)	NTC	2025年6月25日～7月4日	4	9	13
	P	NTC強化指定選手合宿②(7月P)	NTC・朝霞	2025年7月27日～8月4日	2	6	8
	P	NTC強化指定選手合宿③(P9月)	NTC	2025年8月31日～9月5日	2	10	12
	P	NTC強化指定選手合宿⑤	NTC	2025年12月3日～12月7日	3	14	17
	P	12月RFP強化合宿	朝霞	2025年12月7日～12月17日	1	3	4
コーチ力強化(海外コーチ設置)	R	海外コーチ招聘事業 前期	NTC他	2025年4月1日～9月30日	2		2
	R	海外コーチ招聘事業 後期	NTC他	2025年10月1日～2026年3月31日	2		2
コーチ力強化(コーチ派遣)	R/P	コーチ派遣① WCミュンヘン	ドイツ	2025年6月7日～6月16日	4		4
	R/P	コーチ派遣② アジア選手権	カザフスタン	2025年8月12日～8月29日	3		3
	R/P	コーチ派遣③ WC寧波	中国	2025年9月6日～9月15日	3		3
	R/P	コーチ派遣④ 世界選手権	エジプト	2025年11月4日～11月16日	3		3
	R/P	コーチ派遣⑥ 4月韓国合宿派遣	韓国・仁川	2025年4月18日～4月28日	4		4
	R/P	コーチ派遣⑦ 11韓国合宿派遣	韓国	2025年11月20日～11月28日	3		3
	R/P	コーチ派遣⑧ H&Nカップ	ドイツ	2026年1月19日～1月25日	2		2
強化活動のDX促進支援	R/P	アジア選手権 映像技術スタッフ派遣	カザフスタン	2025年8月12日～8月29日	1		1
	—	強化活動のDX促進事業 前期	NTC・他	2025年4月1日～9月30日	—	—	—
	—	強化活動のDX促進事業 後期	NTC・他	2025年10月1日～2026年3月31日	—	—	—

2025年度 次世代アスリート育成強化事業

別表3

事業細目名	競技種目	事業名	実施場所	期間	人数		
					強化スタッフ	選手	計
チーム派遣	R	ISSFWCミュンヘン兼事前合宿	NTC・ドイツ	2025年6月2日～6月16日		7	7
	R	アジア選手権兼事前合宿	NTC・カザフスタン	2025年8月7日～8月29日		4	4
	R	ISSFWC寧波兼事前合宿	NTC・中国	2025年9月4日～9月15日		5	5
	R/P	ISSF世界選手権兼事前合宿	カイロ	2025年11月4日～11月16日		6	6
	R/P	H&Nカップ	ドイツ	2026年1月18日～1月25日		8	8
	R/P	ISSFジュニアWC兼事前合宿	NTC・ドイツ	2025年5月14日～5月26日	2	5	7
	R/P	東アジアユースエアガン選手権兼事前合宿	NTC・韓国	2025年11月30日～12月10日	4	12	16
R/P	アジア射撃選手権大会	NTC・インド	2026年1月28日～2月14日	3	2	5	
海外合宿	R/P	JR韓国強化合宿①	韓国	2025年11月19日～11月28日		3	3
	R/P	JR韓国強化合宿②	韓国	2025年11月20日～11月28日		5	5
国内合宿	R	EA長瀬合宿	長瀬	2025年5月16日～5月18日	1	1	2
	R	EA 東西日本ライフル射撃競技選手権合宿	伊勢原・熊本	2025年6月19日～6月22日	1	3	4
	R	EA 関東高校選手権大会(伊勢原)	伊勢原	2025年6月5日～6月8日	1	4	5
	R	EA 全日本スポーツ射撃競技選手権大会(BR/BP)	石巻	2025年7月18日～7月21日	1	2	3
	R	EA 全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会	広島	2025年7月28日～8月1日	1	4	5
	R	EA 全国ジュニアスポーツ射撃競技大会	青森	2025年9月3日～9月7日	1	4	5
	R	EA JOCジュニアオリンピックカップ兼ISSFジュニア選手権大会	長瀬	2024年9月11日～9月15日	1	4	5
	R	EA 全日本スポーツ射撃競技選手権大会(10m,AR・AP/50mR)	石巻	2025年10月30日～11月3日	2	4	6
	R	EA 関東高等学校ライフル射撃競技選抜大会	茨城	2025年11月21日～11月22日	1	3	4
	R	EA 全日本ミックスチーム射撃競技選手権大会(AR・AP)	能勢	2026年2月19日～2月23日	1	3	4
	R	EA 全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会	高知	2026年3月18日～3月22日	1	2	3
	R	EA 夏季ライフル&ピストル射撃競技広島大会	広島	2025年7月17日～7月19日	1	2	3
	P	10月NTCピストルジュニア強化合宿	NTC	2025年10月10日～10月14日	2	4	6
	R	EA 徳島合宿	徳島	2026年3月12日～3月18日	1	2	3

2025年度toto事業実績 事業区分別（タレント発掘・一貫指導育成事業）

	区分	事業名	場所	期間	人数		
					強化スタッフ	選手	計
1	FTEM(F)	石川TID事業トライアウト	石川県金沢市	3/1	4	7	11
2	FTEM(F)	埼玉TID事業トライアウト	埼玉県上尾市	12/7	3	6	9
3	FTEM(F)	佐賀TID事業トライアウト	佐賀県佐賀市	2/23	5	11	16
4	FTEM(F)	長野TID事業（第1回）	長野県長野市	6/8	2	5	7
5	FTEM(F)	長野TID事業（第2回）	長野県長野市	7/20	2	5	7
6	FTEM(F)	長野TID事業（第3回）	長野県長野市	9/21	2	4	6
7	FTEM(F)	長野TID事業（第4回）	長野県長野市	10/26	2	3	5
8	FTEM(F)	長野TID事業（第5回）	長野県長野市	11/23	2	4	6
9	FTEM(F)	長野TID事業（第6回）	長野県長野市	12/21	2	4	6
10	FTEM(F)	長野TID事業トライアウト	長野県長野市	10/26	1	1	2
11	FTEM(F)	愛知TID事業（第1回）	愛知県刈谷市	6/1	1	5	6
12	FTEM(F)	愛知TID事業（第2回）	愛知県刈谷市	7/12	1	5	6
13	FTEM(F)	愛知TID事業（第3回）	愛知県刈谷市	8/3	1	2	3
14	FTEM(F)	愛知TID事業（第4回）	愛知県刈谷市	9/7	1	3	4
15	FTEM(F)	愛媛TID事業（第1回）	愛媛県伊予市	6/7	1	3	4
16	FTEM(F)	愛媛TID事業（第2回）	愛媛県伊予市	7/12	1	2	3
17	FTEM(F)	愛媛TID事業（第3回）	愛媛県伊予市	8/9	1	2	3
18	FTEM(F)	愛媛TID事業（第4回）	愛媛県伊予市	9/6	1	2	3
19	FTEM(F)	愛媛TID事業（第5回）	愛媛県伊予市	10/11	1	1	2
20	FTEM(F)	愛媛TID事業（第6回）	愛媛県伊予市	11/22	1	1	2
21	FTEM(F)	愛媛TID事業（第7回）	愛媛県伊予市	12/26	1	2	3
22	FTEM(F)	愛媛TID事業（第8回）	愛媛県伊予市	1/10	1	2	3
23	FTEM(F)	愛媛TID事業（第9回）	愛媛県伊予市	2/7	1	2	3
24	FTEM(F)	香川TID事業（第1回）	香川県高松市	6/29	2	5	7
25	FTEM(F)	香川TID事業（第2回）	香川県高松市	7/13	2	5	7
26	FTEM(F)	香川TID事業（第3回）	香川県高松市	8/24	2	3	5
27	FTEM(F)	香川TID事業（第4回）	香川県高松市	9/14	2	4	6
28	FTEM(F)	香川TID事業（第5回）	香川県高松市	1/11	1	3	4
29	FTEM(F)	香川TID事業（第6回）	香川県高松市	2/1	1	5	6
30	FTEM(F)	香川TID事業トライアウト	香川県高松市	6/8	1	2	3
31	FTEM(F)	高知TID事業（第1回）	高知県高知市	5/31	3	5	8
32	FTEM(F)	高知TID事業（第2回）	高知県高知市	6/28	2	5	7
33	FTEM(F)	高知TID事業（第3回）	高知県高知市	7/26	2	5	7
34	FTEM(F)	高知TID事業（第4回）	高知県高知市	8/9	2	7	9
35	FTEM(F)	高知TID事業（第5回）	高知県高知市	9/23	2	3	5
36	FTEM(F)	高知TID事業（第6回）	高知県高知市	10/25	2	3	5

37	FTEM(F)	高知TID事業 (第7回)	高知県高知市	11/22	2	4	6
38	FTEM(F)	高知TID事業 (第8回)	高知県高知市	12/27	2	3	5
39	FTEM(F)	高知TID事業 (第9回)	高知県高知市	1/17	2	4	6
40	FTEM(F)	高知TID事業 (第10回)	高知県高知市	2/14	2	4	6
41	FTEM(F)	高知TID事業トライアウト	高知県高知市	8/24	4	1	5
42	FTEM(F)	埼玉TID事業 (第1回)	埼玉県川口市	7/27	1	2	3
43	FTEM(F)	埼玉TID事業 (第2回)	埼玉県川口市	8/30	2	3	5
44	FTEM(F)	埼玉TID事業 (第3回)	埼玉県川口市	9/20	2	4	6
45	FTEM(F)	埼玉TID事業 (第4回)	埼玉県川口市	10/19	1	2	3
46	FTEM(F)	埼玉TID事業 (第5回)	埼玉県川口市	11/2	1	3	4
47	FTEM(F)	埼玉TID事業 (第6回)	埼玉県川口市	12/13	1	6	7
48	FTEM(F)	埼玉TID事業 (第7回)	埼玉県川口市	1/25	1	3	4
49	FTEM(F)	山梨TID事業 (第1回)	山梨県笛吹市	9/23	3	10	13
50	FTEM(F)	山梨TID事業 (第2回)	山梨県笛吹市	10/18	3	11	14
51	FTEM(F)	山梨TID事業 (第3回)	山梨県笛吹市	11/30	3	10	13
52	FTEM(F)	山梨TID事業トライアウト	山梨県甲府市	6/8	1	13	14
53	FTEM(F)	長崎TID事業 (第1回)	長崎県長崎市	5/25	3	14	17
54	FTEM(F)	長崎TID事業 (第2回)	長崎県長崎市	6/8	3	14	17
55	FTEM(F)	長崎TID事業 (第3回)	長崎県長崎市	7/6	3	16	19
56	FTEM(F)	長崎TID事業 (第4回)	長崎県長崎市	8/3	3	14	17
57	FTEM(F)	長崎TID事業 (第5回)	長崎県長崎市	10/19	3	14	17
58	FTEM(F)	長崎TID事業 (第6回)	長崎県長崎市	12/7	3	12	15
59	FTEM(F)	長崎TID事業 (第7回)	長崎県長崎市	1/18	3	10	13
60	FTEM(F)	長崎TID事業トライアウト	長崎県長崎市	4/13	4	12	16
61	FTEM(F)	東京TID事業トライアウト	東京都世田谷区	7/27	2	2	4
62	FTEM(F)	福岡TID事業トライアウト	福岡県筑紫野市	7/26	2	5	7
63	FTEM(F)	福岡TID事業 (第1回)	福岡県筑紫野市	5/24	2	2	4
64	FTEM(F)	福岡TID事業 (第2回)	福岡県筑紫野市	6/8	2	3	5
65	FTEM(F)	福岡TID事業 (第3回)	福岡県筑紫野市	7/19	2	4	6
66	FTEM(F)	福岡TID事業 (第4回)	福岡県筑紫野市	8/9	2	3	5
67	FTEM(F)	福岡TID事業 (第5回)	福岡県筑紫野市	9/6	2	2	4
68	FTEM(F)	福岡TID事業 (第6回)	福岡県筑紫野市	10/18	2	3	5
69	FTEM(F)	福岡TID事業 (第7回)	福岡県筑紫野市	11/1	2	3	5
70	FTEM(F)	福岡TID事業 (第8回)	福岡県筑紫野市	12/6	2	2	4
71	FTEM(F)	福岡TID事業 (第9回)	福岡県筑紫野市	1/10	2	3	5
72	FTEM(F)	福岡TID事業 (第10回)	福岡県筑紫野市	2/14	2	2	4
			72		142	360	502

	区分	事業名	場所	期間	人数		
					強化スタッフ	選手	計
1	FTEM(T)	関西ブロックタレントハブ (第1回)	大阪府能勢町	5/11	3	3	6
2	FTEM(T)	関西ブロックタレントハブ (第2回)	大阪府能勢町	6/29	3	6	9
3	FTEM(T)	関西ブロックタレントハブ (第3回)	大阪府能勢町	7/27	3	2	5
4	FTEM(T)	関西ブロックタレントハブ (第4回)	大阪府能勢町	8/31	3	13	16
5	FTEM(T)	NTC合宿	東京都北区	2/6,7,8	15	16	31
6	FTEM(T)	関西ブロックタレントハブ (第5回)	大阪府能勢町	9/23	3	10	13
7	FTEM(T)	東北ブロック合宿	宮城県石巻市	11/21,22,23	5	8	13
8	FTEM(T)	関西ブロックタレントハブ (第6回)	大阪府能勢町	10/19	2	8	10
9	FTEM(T)	九州ブロック合宿	熊本県益城町	11/14,15,16	10	19	29
10	FTEM(T)	関西ブロックタレントハブ (第7回)	大阪府能勢町	11/2	3	4	7
11	FTEM(T)	東海ブロック合宿	静岡県藤枝市	10/18,19	3	6	9
12	FTEM(T)	四国ブロック合宿	高知県高知市	12/13,14	6	11	17
13	FTEM(T)	関西ブロックタレントハブ (第8回)	大阪府能勢町	12/20	2	4	6
14	FTEM(T)	関西ブロックタレントハブ (第9回)	大阪府能勢町	1/18	3	11	14
15	FTEM(T)	中国ブロック合宿	広島県安芸太田町	10/25,26	7	10	17
16	FTEM(T)	北信越ブロック合宿	福井県福井市	12/20,21	8	10	18
17	FTEM(T)	関西ブロックタレントハブ (第10回)	大阪府能勢町	2/1	3	11	14
			17		82	152	234

10mエアライフル男子

前年度記録 本選633.8点、団体1883.6点

種目	点数	氏名	所属	競技日	大会名(会場)	承認理事会
10mエアライフル男子本選	635.0	岡田 直也	岡山県	04/10/2025	第79回 国民スポーツ大会ライフル射撃競技会(能勢ライフル射撃場)	06/12/2025
10mエアライフル男子団体	1886.0	岡田 直也、遠藤 雅也、篠原 寛宏	Japan	22/02/2025	第7回 全日本ミックス・チーム射撃競技選手権大会(能勢町ライフル射撃場)	24/05/2025
10mエアライフル男子団体	1889.4	花川 直樹、岡田 直也、遠藤 雅也	Japan	08/11/2025	ISSF世界選手権(カイロ)(Egypt International Olympic C	06/12/2025

10mエアライフル女子

前年度記録 253.1点、ジュニア252.3点、本選633.7点、30発310.0点、団体1887.0点

種目	点数	氏名	所属	競技日	大会名(会場)	承認理事会
10mエアライフル女子	254.1	泰地 陽詩	明治大学	08/06/2025	第27回 日本学生選抜スポーツ射撃競技大会	12/07/2025
10mエアライフル女子	254.2	野畑 美咲	明治大学	25/10/2025	全日本学生スポーツ射撃選手権大会 第72回男子総合/第38回女子総合(栃木県ライフル射撃場)	06/12/2025
10mエアライフル女子ジュニア	254.1	泰地 陽詩	明治大学	08/06/2025	第27回 日本学生選抜スポーツ射撃競技大会	12/07/2025
10mエアライフル女子本選	636.7	野畑 美咲	大分県	02/11/2025	全日本スポーツ射撃競技選手権大会(宮城県ライフル射撃場)	06/12/2025
10mエアライフル女子30発競技ジュニアタイ	310.0	森保 詩乃	長崎県	05/10/2025	第79回 国民スポーツ大会ライフル射撃競技会(能勢ライフル射撃場)	21/02/2026
10mエアライフル女子30発競技ジュニア	312.5	菅波 美結	埼玉県	05/10/2025	第79回 国民スポーツ大会ライフル射撃競技会(能勢ライフル射撃場)	21/02/2026
10mエアライフル女子30発競技ジュニア	312.9	石田 柚葵	岐阜県	05/10/2025	第79回 国民スポーツ大会ライフル射撃競技会(能勢ライフル射撃場)	21/02/2026
10mエアライフル女子団体	1889.0	泰地 陽詩、三浦 莉桜、野畑 美咲	Japan	08/11/2025	ISSF世界選手権(カイロ)(Egypt International Olympic C	06/12/2025

10mエア・ライフルミックスチーム

前年度記録 Mixジュニア622.2点

種目	点数	団体	氏名	競技日	大会名(会場)	承認理事会
10mエアライフルミックスチームジュニア本選	624.6	チーム 高岡 優介・石田 柚葵	高岡 優介、石田 柚葵	24/02/2025	第7回 全日本ミックス・チーム射撃競技選手権大会(能勢町ライフル射撃場)	24/05/2025
10mエアライフルミックスチームジュニア本選	627.7	明治大学1	大山 誠道、泰地 陽詩	06/06/2025	第27回 日本学生選抜スポーツ射撃競技大会(国体記念スポーツセンターライフル射撃場)	27/09/2025
10mエアライフルミックスチームジュニア本選	627.8	つむすけ	石田 柚葵、高岡 優介	03/11/2025	全日本スポーツ射撃競技選手権大会(宮城県ライフル射撃場)	06/12/2025

50mライフル男子

前年度記録 三姿勢460.0点、三姿勢本選ジュニア577点、伏射ジュニア615.6点
前年度記録 立射40発記録なし(屋内記録のみ)

種目	点数	氏名	所属	競技日	大会名(会場)	承認理事会
50mライフル三姿勢男子	463.2	岡田 直也	ALSOK	17/01/2026	ALL JAPAN FINAL CUP (10mAR・AP/50mR/25mSP/RFP) 兼 強化	21/02/2026
50mライフル三姿勢男子本選ジュニア	581	長屋 光珀	明治大学	23/10/2025	全日本学生スポーツ射撃選手権大会 第72回男子総合/第38回女子総合(栃木県ライフル射撃場)	06/12/2025
50mライフル伏射男子本選ジュニア	615.9	滝川 琥舜	日本大学	06/06/2025	第27回 日本学生選抜スポーツ射撃競技大会(国体記念スポーツセンターライフル射撃場)	27/09/2025
50mライフル伏射男子本選ジュニア	616.5	山田 崇太	関西大学	06/06/2025	第27回 日本学生選抜スポーツ射撃競技大会(国体記念スポーツセンターライフル射撃場)	27/09/2025
50mライフル伏射男子本選ジュニア	618.3	長屋 光珀	明治大学	23/10/2025	全日本学生スポーツ射撃選手権大会 第72回男子総合/第38回女子総合(栃木県ライフル射撃場)	06/12/2025
50mライフル伏射男子本選ジュニア	618.8	滝川 琥舜	群馬県	02/11/2025	全日本スポーツ射撃競技選手権大会(宮城県ライフル射撃場)	06/12/2025
50mライフル立射男子40発	379	荒井 陽文	神奈川県	05/10/2025	第79回 国民スポーツ大会ライフル射撃競技会(能勢ライフル射撃場)	21/02/2026

50mライフル女子

前年度記録 三姿勢463.8点、伏射本選ジュニア617.7点

種目	点数	氏名	所属	競技日	大会名(会場)	承認理事会
50mライフル三姿勢女子	464.6	平田 しおり	ALSOK	14/03/2025	3月強化指定選手選考記録会(2025年5月WCJズール選考) 兼	24/05/2025
50mライフル伏射女子本選ジュニア	621.4	木暮 裕菜	日本大学	23/10/2025	全日本学生スポーツ射撃選手権大会 第72回男子総合/第38回女子総合(栃木県ライフル射撃場)	06/12/2025

ビームライフル女子

前年度記録 本選636.1点

種目	点数	氏名	所属	競技日	大会名(会場)	承認理事会
ビームライフル女子本選	637.2	秋吉 柚奈	大分県	20/07/2025	令和7年度 全日本スポーツ射撃競技選手権大会(BR・BP) 男	21/02/2026

ピストル種目

10mエアピストル男子

前年度記録 ジュニア240.0点

種目	点数	氏名	所属	競技日	大会名(会場)	承認理事会
10mエアピストル男子ジュニア本選タイ	240.0	中山 博之丞	岡山県	29/09/2024	第78回国民スポーツ大会(SAGA2024国民スポーツ大会)ライフル射撃	24/05/2025

25mピストル男子

前年度記録 ラビッドファイア なし(新ルール対応後のため)、25m女子31HIT

種目	点数	氏名	団体	競技日	大会名(会場)	承認理事会
25mラビッドファイアピストル男子	31HIT	吉岡 大	京都府警察	11/02/2026	アジア選手権(Dr Karni Singh Shooting Range ニューデリー)	21/02/2026
25mピストル女子	35HIT	佐々木千鶴	岩手県警察	12/03/2025	3月強化指定選手選考記録会(2025年5月WCJズール選考) 兼	24/05/2025

ビーム・ピストル

前年度記録 ジュニア本選 563点

種目	点数	氏名	所属	競技日	大会名(会場)	承認理事会
ビームピストル女子ジュニア本選タイ	563	有本 雅歩	鳥取県	05/10/2025	第79回 国民スポーツ大会ライフル射撃競技会(能勢ライフル射撃場)	21/02/2026

300mライフル

前年度記録 三姿勢本選565点

種目	点数	氏名	所属	競技日	大会名(会場)	承認理事会
300mライフル三姿勢男子本選(国内最高記録)	573	近藤 桂司	Japan	15/11/2025	ISSF世界選手権(カイロ)(Egypt International Olympic C	06/12/2025